



キャンプ・車両用 一酸化炭素チェッカー

取扱説明書 BCG1-559S

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも、本取扱説明書を必ずお読みになり内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

- この一酸化炭素警報器は、テント内や車内の一酸化炭素を検知することができます。テント内や車内の一酸化炭素が警報値より高い場合に、音と光の両方で警告をします。使用者および他者への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。
- 本製品はテントや自動車内の空気における一酸化炭素濃度の測定と注意喚起を目的として設計されています。それ以外の用途に使用しないでください。
- 各部の構成をよく把握し、順序に従って取り扱ってください。
- 本製品はその測定結果、およびその利用による結果を保証するものではありません。
- 本製品はテントや自動車内における火気の使用を助長するものではありません。また本製品の使用による事故についての責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 小さなお子様の手の届かないところで使用してください。

警告 死亡または重症などを追う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品が一酸化炭素を検知し、ライトの点滅やアラーム音を発したら、直ちに一酸化炭素中毒防止のために必要なすべての処置を行ってください。
- 本製品を設置している場合でも、テント、タープ内で火気を使用したり、高温に過熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- 本製品の動作に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品は、一酸化炭素濃度の危機管理や人や動物の健康管理、生命維持、またはその他医療関連施設での使用を意図していません。

注意 障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

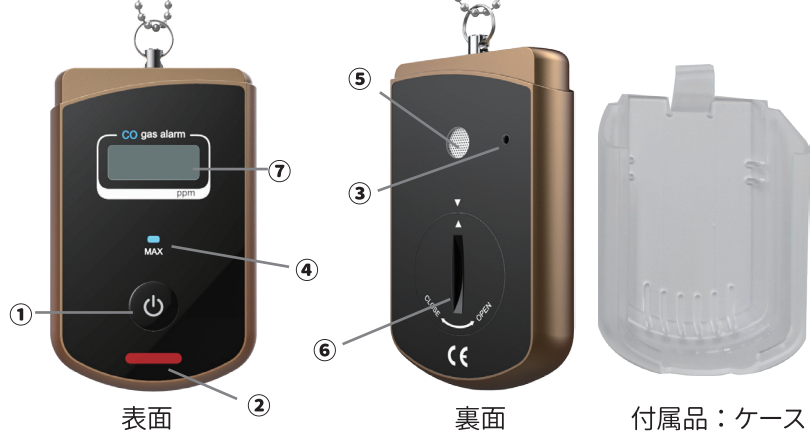
- 本製品は防水仕様ではありません。濡らしたり、野ざらしにしないでください。
- 電池をセットする際、電源をオンにする際は必ずきれいな空気中で行ってください。煙内や排気ガスが充満しているような場所で起動すると、測定値が正しく表示されなくなる可能性があります。
- 内蔵センサーの寿命は5年です。経年により検知機能が低下するため、必ず本体ごと買い換えてください。※製造日はカバーの背面に記載しております
- センサー部分および本体の周囲にものを置かないでください。検知機能が低下する恐れがあります。
- 落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 分解や改造、修理は行わないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。電池の液漏れにより、製品が破損したり火災、怪我等の原因となる恐れがあります。

よくあるご質問

- Q. 電源を入れた直後に数値が急上昇する**
- A. 常に正しい数値を検知するため、当製品には自動校正機能を備えています。そのため電源を入れた直後にセンサーが自動校正に入り一時的に表示される数値が上昇する場合がございます。電源を入れてから5、6分ほど放置すると解消されます。それでも解消されない場合は以下をお試ください。
- ・センサー部分にエアダスター等を噴射し本体内部にたまった空気を取り除く。
 - ・充分な電池残量のある新品の電池に交換する
 - ・空気のきれいな場所へ移動し、電池を一度抜いて再起動する。
- Q. 電源を入れても数値が変化しない**
- A. 長時間電池を抜いた状態が続くと、センサーが正しく起動しない場合があります。電池を入れてから5、6分ほど放置すると解消されます。または、電池を一度抜いてから再起動することで解消する場合があります。
- Q. バッテリーマークが常に点滅する**
- A. 電池残量が不足するとバッテリーマークが点滅します。充分な電池残量のある電池をセットしてください。新品の電池であったとしても充分な電池残量がない場合がありますので、市販の電池チェッカーなどで電池残量を確認してください。
- Q. 正常に動作するか確認したい**
- A. 一酸化炭素中毒の恐れがあるため屋外など空気がよく循環する場所で行ってください。確認の際には充分にお気を付けください。（一酸化炭素が排出されるもの一例：火を燃した炭・タバコの煙自動車の排ガスなど）
- Q. 本体に無数のキズがある**
- A. 工場出荷の段階で本体の表面・裏面ともに備防止用のフィルムを貼り付けております。フィルムをはがしていただくに綺麗な状態でご使用いただけます。
- Q. 綺麗な空気中でも数値が0にならない / 戻らない**
- A. センサーに一酸化炭素がわずかに残留している場合や、校正のスレなどが考えられます。10分ほど放置しても変わらない場合は、再起動をしてください。



各部の名称



表面

裏面

付属品：ケース

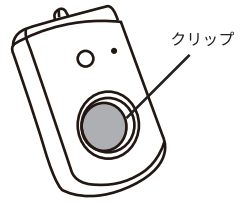
①	電源ボタン
②	検知ライト
③	スピーカー
④	中央部ライト（最大値表示時点灯）
⑤	センサー部
⑥	電池カバー
⑦	液晶画面

【材質】プラスチック、アルミニウム【電池】CR2032*2
 【製造国】中国（センサー部のみ日本製）
 【動作温度】-5℃～50℃【動作湿度】15～90%RH
 【測定範囲】0～999ppm【長期安定性】5%以内/年
 【再現性】±2%

電池交換の方法



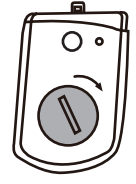
1. 裏面の穴に、コイン等を差しこんで矢印の方向に30°ほど回すと、電池カバーが外れます。



2. 矢印の方向に沿ってクリップを押すと、自動的に電池が飛び出します。



3. 新しい電池を入れるときは電池のプラスマイナスの方向にご注意ください。



4. 電池カバーを押し込み、再度コイン等を差しこんで矢印の方向に回して閉じます。

＜使用方法＞

本体を起動する際は、必ずきれいな空気中で行ってください。煙内や排気ガスが充満しているような場所で起動すると測定値が正しく表示されなくなります。

1. 電源ボタンを長押しして本体を起動します。
2. 起動音が鳴り、約3分間は液晶画面に「CAL」と表示されます。この間はきれいな空気中に放置してください。※CAL表示中は一切操作できません。

3.3分経過すると再度起動音が鳴り、液晶画面に数字が表示されます。空気中の一酸化炭素濃度を自動で測定します。※本製品の設置場所は火気の近くではなく、人が密集しているリビングスペースや寝室等に設置してください。また、設置の際にセンサー部が障害物等に覆われていないか必ず確認してください。

4. アラーム作動範囲は下記表のとおりです。基準値を超えた一酸化炭素を5分以上検知し続けると、下記基準の通り警告が行われます。

ppm 別の一酸化炭素中毒症状の目安	
200	2～3時間内に軽い頭痛
400	2.5～3.5時間で後頭痛
800	2時間で失神
1600	2時間で致死
3200	30分で致死
6400	10～15分で致死
12800	1～3分で死亡

アラーム作動範囲	
200～299ppm	：検知ライト点滅
300～399ppm	：点滅＋アラーム遅
400ppm～	：点滅＋アラーム早

※本製品が計測できる範囲は0～999ppmです。
 ※999ppmを超えた場合は強制的にアラームが鳴ります。

5. 検知ライトの点滅やアラーム音が鳴り始めた場合は、ただちに一酸化炭素中毒防止のために必要なすべての処置を行ってください。ppmが既定の数値を下回ると自動でライトの点滅やアラーム音は停止します。※一酸化炭素中毒の症状は人によって異なります。200ppm以下であっても定期的に換気を行ってください。